

総合的な探究の時間 「進路づくり」講演会



5月20日(金)の総合的な探究の時間に、NPO法人 LEGIKA 理事 倉部史記 先生を講師にお迎えし、「15年後の社会に向けた進路づくり」と題した講演会を実施しました。倉部先生は、15年後の社会がどうなるかを見通して、これからは「進路選び」ではなく、「進路づくり」が必要になると問題提起し、ご自身の具体的な経験を踏まえて、「進路

づくり」のためのヒントをお話いただきました。新しいデータや事実をもとにしたユーモアをまじえたお話に、生徒も教職員も熱心に聞き入りました。

先生は、講演の中で、以下の3点の課題を提示してくれました。

私たちも、今後の学校生活の中で意識して、進路実現に向けて取り組んでいきましょう。



3つ理解を手掛かりに、行き先を考えてみよう

【学問理解・/業界・職種理解】

- ・学びたい学問分野、職業分野はどのような内容か。
- ・就職先の業界や、就く予定の職種は、どのような内容、どのような状況か。

【学校理解/企業理解】

- ・その大学、専門学校、その就職先は、他の組織と何が違うのか。

【自己理解】

- ・私は、なぜそこに行きたいのか。そこで何をし、どうなりたいのか。

まとめ

- 未来への地図は常に変わるので、自分はどうなりたいか(進路のコンパス)を常に意識。
- 生涯、学び続けられる人が最強。
- 大事なのは受験や就活よりも、その後。後悔しないよう、進路選びは真剣に。
- 「かけ算」で自分の勝負の仕方をつくろう。そのためには、本気でやることが大事。

